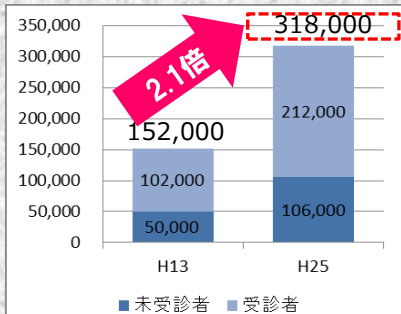


糖尿病重症化予防対策 課題とこれまでの取組

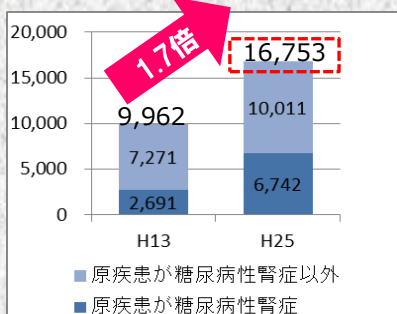


現状と課題

糖尿病患者 (人)



人工透析患者 (人)



人工透析になると...

- ・週3回(1回につき4~5時間)の通院が必要
- ・医療費も人工透析前後で約10倍の差

人工透析前

人工透析後

約50万円/人・年

→ 約500万円/人・年

取組(平成26、27年度)

【埼玉県医師会、埼玉糖尿病対策推進会議、埼玉県】

「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」作成

→ 対象者選定基準、受診勧奨・保健指導の方法等

【30市町、埼玉県国民健康保険団体連合会】

健診・レセプトデータから
ハイリスク者をピンポイントで特定

通院していない人には…
重症化リスクを伝え

→ 受診勧奨

通院している人には…
専門職がマンツーマンで

→ 保健指導



対策の効果

受診勧奨の効果

勧奨実施前	勧奨実施後	効果
未受診者:4,896人 うち新規受診者:491人	未受診者:4,405人 うち新規受診者:807人	新規受診者の割合 約1.8倍
新規受診者の割合 10.0%	新規受診者の割合 18.3%	

保健指導の効果【HbA1c(ヘモグロビン エーワンシー)値】

	保健指導前	6か月間の保健指導後	効果
参加者 HbA1c平均値	7.1% →	6.8%	0.3ポイント改善
不参加者 HbA1c平均値	7.0% (H26健診時) →	7.1% (H27健診時)	0.1ポイント悪化

保健指導参加者は
『合併症予防のための
目標値』
=7.0%未満をクリア

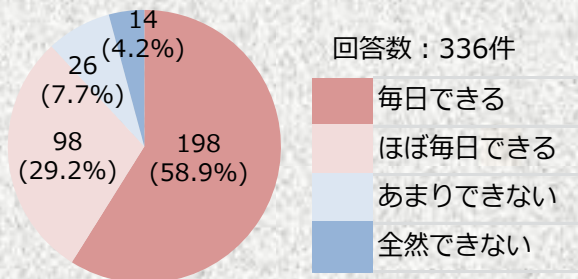
事業参加者とかかりつけ医の声



保健指導参加者の声

参加者の自己管理に関するアンケート結果

体重・血圧の測定・記録ができる



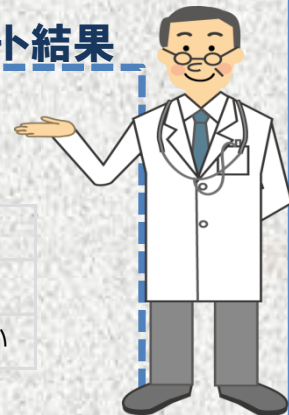
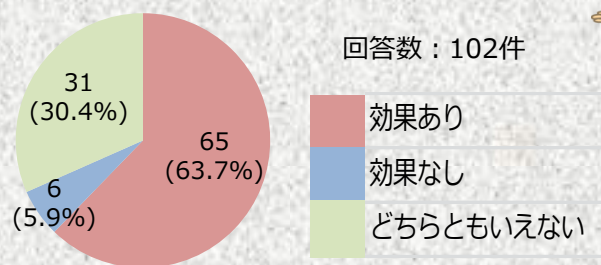
主な意見

- ・自分に糖尿病が重症化する恐れがあるとは思ってもよらなかった。言われて目が覚めた思いだ。
- ・検査数値が良くなり、生活習慣の改善が大切だと分かった。

かかりつけ医の声

保健指導の効果に関するアンケート結果

かかりつけ医アンケート



主な意見

- ・患者さんに『合併症が問題である』という意識が出てきた。
- ・医療以外の食事や運動等、生活面での改善が重要との認識が持たれるようになった。



今後の展開

全県展開へ

市町村国保(63市町村)

* 国保連合会との共同事業参加市町村

被用者保険

平成26年度

19

平成27年度

30

平成28年度

40

〔他の23市町村も、独自に重症化
予防対策を実施〕

平成27年度
協会けんぽ
埼玉支部で
開始

今後、健康保
険組合等にも
取組を促す

全県で取組を強力に展開

→さらに医療費抑制効果を検証へ

全国展開へ

日本健康会議 (平成27年7月10日設立)

宣言「重症化予防に取り組む市町村を800以上」

・ホームページで埼玉県の「市町村広域展開」の取組を好事例として紹介

重症化予防に係る連携協定 (平成28年3月24日)

日本医師会、日本糖尿病対策推進会議、厚生労働省

・埼玉県の「三者連携」を踏まえ、三者で4月中に重症化予防プログラムを策定

「埼玉県方式」を全国展開

～埼玉から政策発信～